



SCRU 標準チェックシート(案)

DATE:
REF. NO

【PROCESS 1】輸入コンテナPICK UP時のEIRチェック

| | | | |
|----------------|----------------------------|--|------|
| 日時 | 年 月 日(曜日) AM / PM 時 分 | 運用ルール | |
| 場所 会社 担当 | TEL: MAIL ADD: | 記入例: 搬出時にダメージが確認されたときは、輸入荷主へ返却をお願いします。 | |
| 乗務員 番号 | 氏名: TEL: TEL: 車番: | ※EIR入手後は速やかにご提出願います。 チェックシートの提出先:E-mail、FAX | 確認者印 |

【PROCESS 2】デバンニング後のチェック

| | | | |
|-----------|------------------------|--|---|
| 日時 | 年 月 日(曜日) AM / PM 時 分 | 運用ルール | |
| 会社 担当 | TEL: MAIL ADD: | ① デバンニング前後にダメージが確認されたときは、写真付きのメールで〇〇〇〇に連絡をお願いします。(EIR/ダメージ箇所/コンテナ番号) | |
| 項目 | 異常・ダメージと判断基準 | チェック | ② デバンニング後に必ずコンテナ洗浄を実施し、クリーンな状態とする。 |
| 判断基準により判断 | 1 コンテナピンホール | コンテナの中に入り、ピンホールの有無を確認。あればNG。 | OK / NG |
| | 2 床面 | 補修による段差、釘、めくれ、破損、波うち、汚れ、えぐれ(5cm以上)が無い事。釘がある場合は抜く。抜けなければNG。 | OK / NG |
| | 3 ドアパッキン | ドアパッキン(ガスケット)に切れが無い事。ピンホールを確認した際に光漏れが無ければOK。 | OK / NG |
| | 4 コンテナダメージ | サイドパネルのダメージを確認。±5cm以内の凹凸であればOKとする。 | OK / NG |
| | 5 結露 | 天井、床面、側面に水滴がついていない事。手に水滴が付かないレベルである事。自然乾燥・拭き上げが可能であればOK。 | OK / NG |
| 〇〇〇〇に連絡 | 6 ラッシングリング | 片面8か所以上ある事。無い場合は輸出荷主に連絡し、RU可否を判断する。 | OK / NG |
| | 7 ドア閉閉 | 人力でのドア閉閉及び封印が出来る事。出来ない場合はNG。 | OK / NG |
| | 8 ドア止め用フック | 両サイドにフックがある事を条件とするが、ピンホールが無ければOKとする。無い場合は〇〇〇〇に写真付きで連絡。 | OK / NG |
| | | 天候、交通事情などで遅延等が発生する場合には、〇〇〇〇に連絡する事。 | ③ 上記①と②でラウンドユースでの使用が不可となった場合の代替とし、同日の他コンテナ転用に関して、最大限の協力を行う事とする。 |
| | | ④ 左記のチェックについては、相違が無いように責任を持ってチェックを実施する。(形骸化しないように留意する) | ④ ラウンドユース最終判断 OK / NG |
| | | その他問題発生時の詳細内容 | 担当者 ⑤ |

【PROCESS 3】バンニング作業前のチェック

| | | | |
|----------|--|--|---|
| 日時 | 年 月 日(曜日) AM / PM 時 分 | 運用ルール | |
| 場所 担当 | バンニング場所: TEL: Mail: | ① バンニング前にダメージが確認されたものについてはラウンド使用不可とする。 | |
| 項目 | 異常・ダメージと判断基準 | チェック | ② バンニング前に問題が確認されたものについては、ラウンド使用の協議を実施する。 |
| 1 | コンテナの中に入り、ピンホールが有無を確認。あればNG。 | OK / NG | ③ PROCESS 2におけるチェック内容及びコンテナ内クリーンの認識に齟齬が発生した場合は、バンニング前に写真撮影の上、関係者に報告することとする。ただし、使用可能な限りラウンドに使用することとする。万が一、最終仕向け地で当該事由によるコンテナ洗浄等が発生した場合においては、当該要因を発生させたと推測される起因者負担を原則とする。 |
| 2 | 補修による段差、釘、めくれ、破損、波うち、汚れ、えぐれ(5cm以上)が無い事。釘がある場合は抜く。ただし、輸送品質及び安全上問題無い範囲であればOKとする。 | OK / NG | |
| 3 | ドアのパッキン(ガスケット)に切れが無い事。上記①のピンホール確認時に光が漏れていなければOKとする。 | OK / NG | |
| 4 | サイドパネルのダメージを確認。±5cm以内の凹凸であればOKとする。 | OK / NG | |
| 5 | 天井、床面、側面に水滴が付着していない事。自然乾燥や拭き上げ可能であればOKとする。 | OK / NG | |
| 6 | ラッシングリングが片面8か所ある事。ただし、バンニング及び貨物保定に問題無ければOKとする。 | OK / NG | ④ ラウンドユース最終判断 OK / NG |
| 7 | ドアの閉閉(ハンドルロックを含む)に問題が無い事。封印機能に問題が無ければ使用可能。 | OK / NG | 担当者 ⑤ |
| 8 | コンテナ両側のドア止め用フックを確認。確認できなければ、損傷具合を確認の上、ドア固定用具を使用する。 | OK / NG | |
| | | NGの場合、主たる理由: | |

【PROCESS 4】コンテナラウンドユース実施報告

| | | | |
|------|--|------------------------------|---|
| 作業完了 | ※バンニング作業実施者が記載 年 月 日(曜日) AM / PM 時 分 | 運用ルール | |
| 特記事項 | | 記入例: 作業終了後、速やかにSCRUに報告して下さい。 | ⑤ |

SCRU 標準チェックシート(案) 簡易版



| | | | | | |
|---|---------------|--|--------------|---------------|---------|
| コンテナ番号 | | PROCESS1 | PROCESS2 | PROCESS3 | |
| | | 輸入コンテナPICK UP時のチェック | デバンニング後のチェック | バンニング作業前のチェック | |
| ラウンドユースの可否 OK / NG (NGの理由) | 年月 | 年 月 日 (曜日) | 年 月 日 (曜日) | 年 月 日 (曜日) | |
| | 時間 | AM / PM 時 分 | AM / PM 時 分 | AM / PM 時 分 | |
| | 会社 | | | | |
| | 担当 | Ⓜ | Ⓜ | Ⓜ | |
| | TEL | | | | |
| | MAIL ADD | | | | |
| 項目 | | チェック | チェック | チェック | |
| 1 | コンテナ ピンホール | コンテナの中に入り、ピンホールの有無を確認。あればNG。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 2 | 床面 | 補修による段差、釘、めくれ、破損、波うち、汚れ、えぐれ(5cm以上)が無い事。釘がある場合は抜く。抜けなければNG。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 3 | ドア パッキン | ドアパッキン(ガスケット)に切れが無い事。ピンホールを確認した際に光漏れが無ければOK。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 4 | コンテナ ダメージ | サイドパネルのダメージを確認。±5cm以内の凹凸であればOKとする。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 5 | 結露 | 天井、床面、側面に水滴がついていない事。手に水滴が付かないレベルである事。自然乾燥・拭き上げが可能であればOK。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 6 | ラッシング リング | 片面8か所以上ある事。無い場合は輸出荷主に連絡し、RU可否を判断する。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 7 | ドア開閉 | 人力でのドア開閉及び封印が出来る事。出来ない場合はNG。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| 8 | ドア止め用 フック | 両サイドにフックがある事を条件とするが、ピンホールが無ければOKとする。無い場合は○○○に写真付きで連絡。 | OK / NG | OK / NG | OK / NG |
| | | 備考 | 備考 | 備考 | |

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|-----------------|-----|
| PROCESS 4 | | コンテナラウンドユース実施報告 | |
| 作業完了 | ※バンニング作業実施者が記載 | | |
| | 年 月 日 (曜日) | AM / PM | 時 分 |
| 特記事項 | 運用ルール 記入例:作業終了後、速やかにSCRUに報告して下さい。 | | Ⓜ |